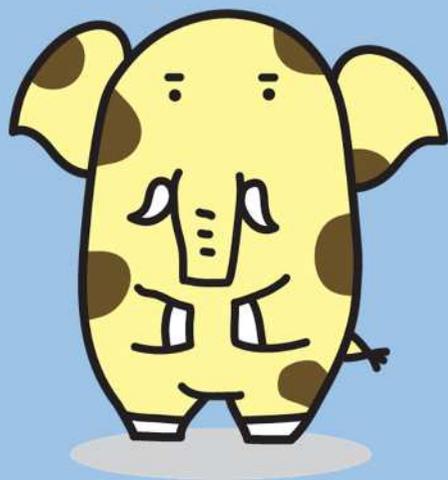


不登校の現状と支援について



新座市教育委員会 教育相談センター

室長 坂根 英子

1. 不登校の現状について

2. 不登校の支援

3. 学校を「みんなが安心して学べる」場所に



不登校とは、

「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席したもののうち、病気や経済的な理由によるものを除いたもの」
(文部科学省)



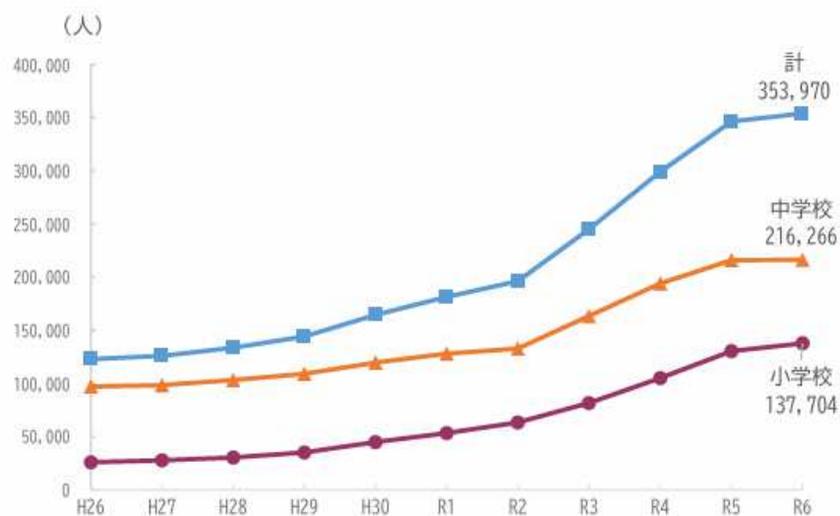
1. 不登校の現状について



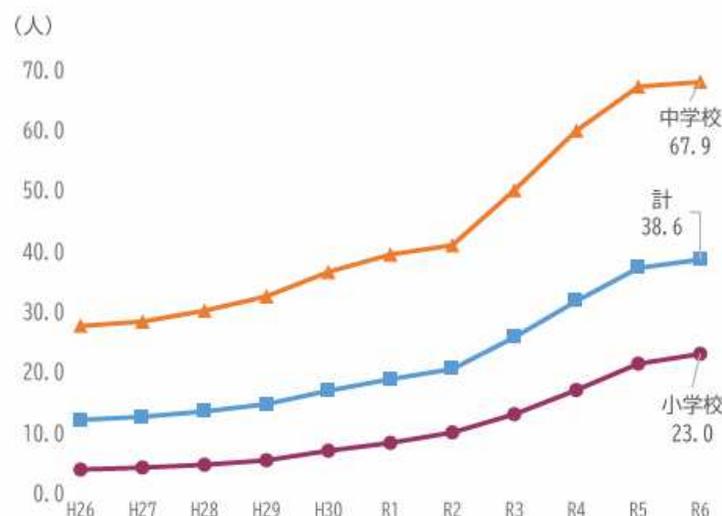
小・中学校における不登校の状況について

- 小・中学校における不登校児童生徒数は353,970人(前年度346,482人)と過去最多となり、12年連続で増加したものの、増加率は小学校5.6%(前年度24.0%)、中学校0.1%(前年度11.4%)、小・中学校全体2.2%(前年度15.9%)であり、前年度から低下した。
- 児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は38.6人(前年度37.2人)であった。

不登校児童生徒数の推移



1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	25,864 3.9	27,583 4.2	30,448 4.7	35,032 5.4	44,841 7.0	53,350 8.3	63,350 10.0	81,498 13.0	105,112 17.0	130,370 21.4	137,704 23.0
中学校	97,033 27.6	98,408 28.3	103,235 30.1	108,999 32.5	119,687 36.5	127,922 39.4	132,777 40.9	163,442 50.0	193,936 59.8	216,112 67.1	216,266 67.9
合計	122,897 12.1	125,991 12.6	133,683 13.5	144,031 14.7	164,528 16.9	181,272 18.8	196,127 20.5	244,940 25.7	299,048 31.7	346,482 37.2	353,970 38.6

出典:令和6年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

小学校
137,704人
(1,000あたり23.0人)

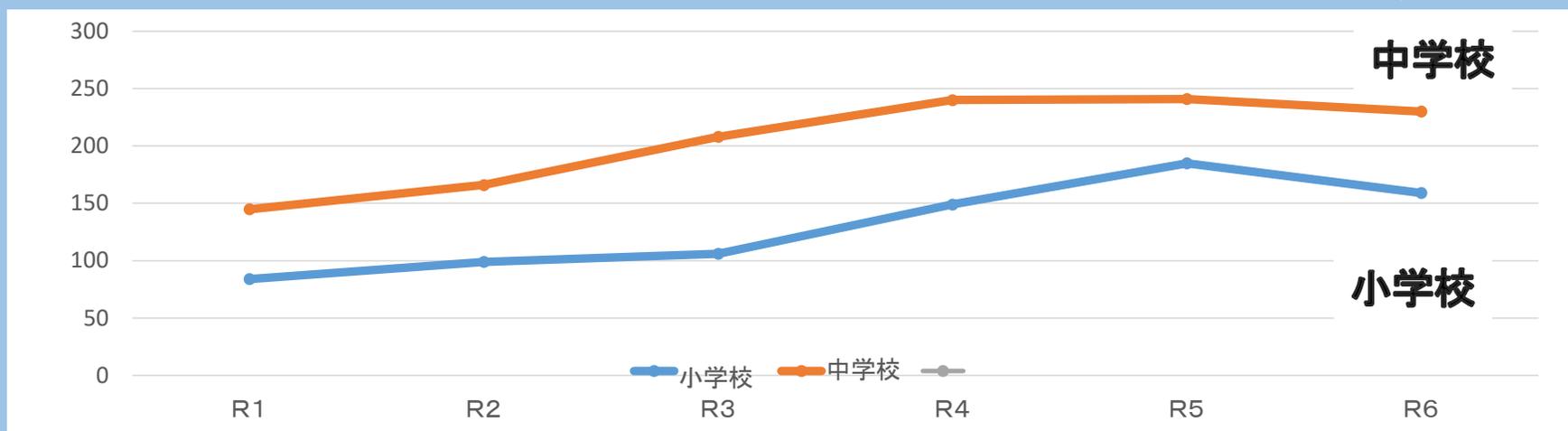
中学校
216,266人
(1,000人あたり67.9人)



新座市の小・中学校における不登校の状況

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	84人	99人	106人	149人	185人	159人
中学校	145人	166人	208人	240人	241人	230人
合計	229人	265人	314人	389人	426人	389人

小・中ともに減少



●不登校児童生徒数は近年増加傾向であったが、令和6年度、減少した。ただ、長欠児童生徒の人数は、高止まりであるため、今後も継続した支援と未然防止の対応が必要である。

1. 不登校の現状【背景・要因】

◆不登校児童生徒について学校が把握した事実

- 不安・抑うつ
- 生活リズムの不調
- 無気力
- 学業不振
- 個別の配慮（障害（疑い含む）以外）
- 友人関係
- 親子関係
- 家庭生活の変化
- 教職員の関係
- 障害（疑いを含む）に起因
- その他



2. 不登校の支援

新座市校内支援ルーム「ピット」

新座市教育支援ルーム



2. 不登校の支援

新座市校内支援ルーム 「ピット」について

新開小「たいようルーム」
第二中「スマスタルーム」
第五中「アスサポ」

※令和7年度から池田小に校内支援ルームスタッフを設置
※その他多数の学校が実態に合わせて、工夫をしながら設置



新座市校内支援ルーム 「ピット」

「ピット」とは？

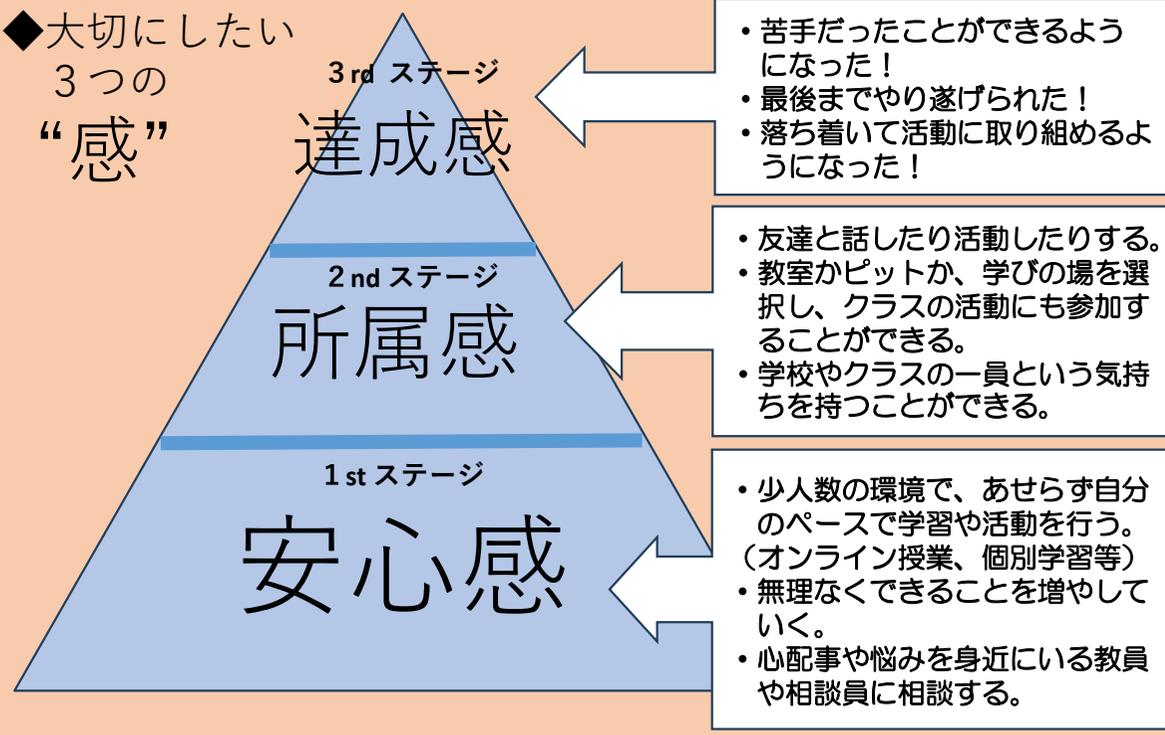
車やバイクのレース中に、必要な燃料を入れたり車の状況を確認したりするために、一旦レースから離れて整備するための場所です。

新座市校内支援ルーム 「ピット」とは？

○登校後、安心できる環境の中で自分らしく学ぶことをとおして、心にエネルギーをためる場所です。学校環境で学ぶ良さを生かしながら、自分らしさや自分の良さに気付けるよう支援していきます。

○学校・学級にうまく馴染めない児童生徒が安心して過ごせる居場所になるよう、また、不登校になった児童生徒が学校に戻りたいと思ったときのステップとなるよう支援します。

◆大切にしたい
3つの
“感”



- 対象 学びたいけれど教室に入りづらさを感じている児童生徒
- 時間 本人、保護者と学校が相談して決めます。(学校の授業時間内)
- 内容 自分で決めた学習や活動、教室からのオンライン授業等
クラスでの学びについては本人の意思を尊重して行います。
- 支援者 教員や市で採用した職員が、管理職や担任等と連携して支援を行います。

※入室にあたっては、本人の意思及び保護者の方との連携が必要になります。
本人、保護者、学校が共通理解を図りながら、支援を進めていきます。

たいようルーム



個別学習スペース



共同スペース



サポートスタッフの見守り



昼のスペースでけん玉



1日のスケジュール表



たいようルームのすごしかたの掲示



利用児童用ロッカー



共同スペースでの学習の様子

資料3

たいようルームでの すごしかた

サポートスタッフに
言われたことは、すなお
にぎきましょう。

つけたものは
じぶんでもとのばしょ
にかたづけましょう。

ほかのひとの
めいわくなることは
気をつけましょう。

やることをじぶんで
きめてすごしましょう。

えがおで、げんきにすごしましょう！

スマスタルーム

第二中学校



「スマスタ登校」とは

学校に行きづらいと感じている生徒の皆さんが『スマスタ』で勉強や会話の中で、人とのコミュニケーションを通して社会の一員としての資質向上を目指す場

スマスタでの一日の生活

	月	火	水	木	金	土日祝
朝		登校 9:00				
1	イラスト	出席確認・自習			教室チャットモニター ※	閉室
2		自習・質問教室				
3		自習・質問教室				
4		自習・質問教室				
昼		給食・昼休み				
5		自習・質問教室				
6		自習・質問教室				
放課後		清掃・下校				

他にも「学校帰りにある修学旅行」「大学生ピアサポーターとの交流」なども用意しております！

保護者の皆様へ

「クラスになじめなくて居づらい」「登校することに抵抗がある」など、学校に行きづらいお子さんを抱えてお困りの方からの相談が増えています。本校では新設された「スマスタ(スマートスタイル)」内に校内支援センターを設置し、そういうお子さんにとっての学校での居場所として「スマスタ登校」を始めます。担当の教職員他、十文学園女子大学と連携し、大学生ピアサポーターにも協力してもらいながら、学習の保証及び人間関係の形成を進め、社会の一員として必要な人間関係づくりを学べる場となれればと考えております。もしお悩みの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。



新座市立第二中学校
スマスタ(スマートスタイル)内 校内支援センター

校内教育支援センター®(ST型)

スマスタ登校

- ・ 教室に戻ることを第一の目的としないST(スペシャルティ)の居場所
- ・ 教諭1名を配置し、指導、管理を行う。



ゆかた体験(修学旅行で着るかも)



修学旅行のコース検討(バランスボール)



給食(食べるのが大事)

チャットで情報を共有→

アスサポ



	13	14	15	16	17
	月	火	水	木	金
1	成人の日		1-1 音楽 2-2 音楽		1-2 音楽
2					
3			2-3 音楽		
4			1-3 音楽 2-4 音楽		
5					
6					

3-5	理B	数学	社会	国語	学活	数学	保体	社会	英語	国語	音楽	理A
3-6	英語	社会	理B	理A	学活	保体	音楽	英語	数学	国語	社会	国語
3-7	社会	理A	音楽	理B	学活	保体	英語	理A	数学	社会	理B	国語
学習室		理科	保体	音楽				国語	社会	数学	家庭	
特支	音楽	作・自	数学	理科	生活・学活	数学	作・自	国語	技・家	歴史	道徳	作・自

校内支援ルームの成果

- 教室に入りづらい子供たちの居場所となる。
- 自分のペースで学習することが出来る。
- 教室より静かで落ち着いた空間の中で過ごすことが出来る。
- 教室以外の居場所となるため、子供たちが学校から離れることなく過ごすことが出来る。

学校毎に少しずつ特色が異なり、その学校の特徴に合った運営が進んでいます。



2. 不登校の支援

教育支援ルームについて (旧適応指導教室)

「ふれあいルーム」
「とことこぷらすのへや」
「ムササビルーム」



「ふれあいルーム」

- (1) 教育相談員5人(相談業務対応3人、ふれあいルーム担当職員2人)
 - (2) 学校カウンセラー(3人が週に1回ずつ勤務) 来庁日(月・水・金)
 - (3) 埼玉県スクールソーシャルワーカー 2人
 - (4) 新座市スクールソーシャルワーカー 3名 (月曜以外は担当中学校にて勤務)
- ※ピアサポーター(大学生ボランティア)

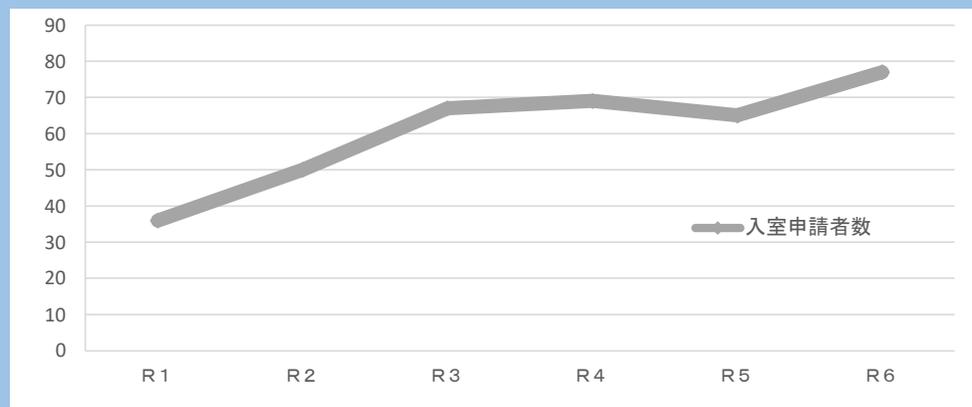


ふれあいルームについて

●新座市学校適応指導教室設置要綱（平成11年1月決裁）
により、平成11年4月より開室

【申請者数の推移】

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	21人	40人	45人	35人	23人	39人
中学校	15人	10人	22人	34人	43人	38人
合計	36人	50人	67人	69人	66人	77人



「とことこぶらすのへや」

令和5年9月22日(金)より
十文字学園女子大学内に
「とことこぶらすのへや」開室

【開室時間】

毎週金曜日午後2時から午後6時

【職員】

- ・十文字学園女子大学 星野 敦子副学長
- ・大学生ボランティア等
- ・新座市教育委員会教育相談センター・教育相談室職員

新座市 「とことこぶらすのへや」

家から一歩出て人と関わってみたい！
学校以外の場所で、自分のペースで勉強したい！
友達をつくりたい！
大学生や先生、相談員に話を聞いてほしい！
学校以外の所でいろんな体験がしてみたい！

『とことこぶらすのへや』では、大学という環境の中で、大学生ボランティア等と一緒に、「自分らしさ」を大事にし、個に応じた支援を重点的に行います。学習や体験活動をおして、一人一人が学びや人との交流の楽しさを感じながら、安心できる居場所を作っていきます。

○場 所	十文字女子大学内 753教室(7号棟 5階)
○開 室 日	毎週金曜日
○時 間	午後2時～午後6時 (安全確保のため、帰りは原則お迎えが必要になります。)
○対 象	・新座市に在住する児童生徒 ・安心できる環境の中で学びたいという意思がある児童生徒
○内 容	個々のペースに合わせた学習 体験活動をおした協働学習 遊びやゲーム等をおした交流活動 など
○スタッフ	大学講師 相談員 学生ボランティア など

《申し込み》
市のホームページまたは学校から申請書を取り寄せ、必要事項を記入して学校に提出してください。
※現在「ふれあいルーム」に通っている児童生徒も「とことこぶらすのへや」に入室することができます。

「とことこぱらすのへや」活動風景

十文字学園女子大学で開催します！
とことこぱらすのへや
オープニングイベント8/3(木)8時
10時から15時・参加無料
「とことこぱらすのへや」は9月から毎金曜日15時～

対象 新座市内・近隣の小学生・中学生と保護者
(学校に行きづらい、行っていない児童・生徒
児童生徒の定員 1日あたり約40名)

会場 十文字学園女子大学 (受付)8号館2F
新座市菅沢2-1-28

内容 5つの部屋があります。好きなどころ
①遊びの部屋 (ゲーム、パズル、モルック)
②学びの部屋 (個別学習、習字、プログラミング)
③工作・自由研究の部屋 (ミニ水族館、おやつの作り)
④食事の部屋 (お弁当、おやつが食べられる)
⑤ママカフェ (不登校の会が運営する楽しい)

駐車場 利用については事前にお申し込みください。
QRコードまたは以下のリンクから登録をお願いします
環境研究所 0276-7673 (担当)



うちわ作り



学生と保護者も交流



モルック体験



プログラミング体験



保護者同士の交流





ゲームや遊びで自然な
コミュニケーションサポート

新座市教育支援ルーム
**ムササビ
ルーム**

一人ひとりが安心して
自分を表現できる
フリースペースです

月1回の昼食支援

支援科目は国語・算数・英語・作文
それ以外も受付中!

不登校、発達障害、
学習障害、
その他学習に不安の
あるお子様
ご相談ください

対象 ◆ 小学1年生～中学3年生
生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯
自立相談支援機関を利用している世帯の小中学生など
※上記にあてはまらない方もご相談ください

開催日 ◆ 毎週水曜日 10:00～14:00
(祝日、第5週目を除く)

場所 ◆ 道場集会所
(〒352-0024 埼玉県新座市道場 1-13-53)
※会場は変更する場合があります

費用 ◆ 無料

登録制にて開催しております。公式
LINE・メール・電話よりお問合せ下さい。
新座市以外にお住まいの方もご利用い
ただけます。ご相談のみでもどうぞ!

公式LINE
公式メール

「新座市教育支援ルーム ムササビルーム」

- 令和7年5月より
- 毎週水曜日、道場集会所で開室。
- 教員や心理師等の資格を持った職員が
学習面・心の面等をサポートしてくれる。



新座市教育支援ルーム
**ムササビルーム
夏まつり**

2025.8.27(水) 10:00～14:00
道場集会所
新座セントラルキッズパーク

予約不要
参加費 ¥100
対象：小学1年生～中学3年生

射的
さかな釣り
ボーリング
ヨーヨー釣り
焼きそば
輪投げ
ビンゴ大会
かき氷

時間 13:00～16:00

特定非営利活動法人Woods
メール：musasabi@woods-c.com
電話番号：090-4758-1059(代表：カネキ)

公式LINE
公式メール

行事も定期的に
開催!

主催 特定非営利活動法人 Woods (ウッズ)
メール：info@woods-c.com
電話：090-4758-1059 (代表：カネキ)
ホームページ：https://woods-c.com/musasabi-room/donate/

後援 新座市 公益財団法人 樫の芽会

ホームページ

教育支援ルームの成果



(子供たち)

- 🌸 申請者数の増加 = 不登校児童生徒の居場所確保
- 🌸 異年齢集団(上級生が下級生のお世話) = 自己有用感の向上
- 🌸 他者との交流をとおした学び
= 自己課題(コミュニケーション能力、個人スキル)への気づき
- 🌸 キャリア形成 = 体験から生まれる興味・関心

(保護者)

- 🌸 相談員との定期面談 = 保護者も安心、支援の方向性を共有
- 🌸 子どもの居場所 = 保護者がホッとできる時間

3. 学校を 「みんなが安心して学べる」場所に



3. 学校を「みんなが安心して学べる」場所に



令和4年12月文部科学省

「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒」の割合

小・中学校8.8%

令和5年3月13日

通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告

・校長のリーダーシップの下、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態を適切に把握し、適切な指導や必要

な支援を組織的に行うための**校内支援体制を充実**させること

・児童生徒が慣れた環境で安心して**通級による指導を受けられるように****自校**

通級や巡回指導をはじめとする通級による指導を充実させること

・通級による指導を担当する教師等の専門性の向上を図ること

令和7年9月5日中央教育審議会教育課程企画特別部会 論点整理 多様性の包摂(インクルージョン)＝インクルーシブ教育の実現

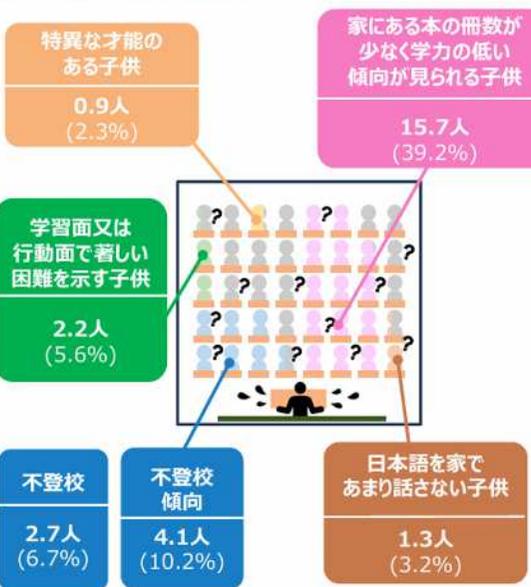
学校における児童生徒の多様性を包摂する必要性

○どの学校においても、多様な個性や特性を有する子供が在籍している実態が顕在化している。
こうした多様性を包摂し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題。

小学校 (35人学級)



中学校 (40人学級)



※各数字の出典は諮問参考資料P45,46参照
https://www.mext.go.jp/content/20242127-mxt_kyoiku01-000039494_03.pdf

1

心理的安全性

失敗を恐れずに挑戦できる

学校だけが学びの場じゃない

友達と違っていい

学校の役割

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

学ぶことに意味がある

楽しい

できた

校内支援体制について

特別支援教育支援員

小学校34人

中学校 6人

介助員

介助が必要な児童生徒に配置

子どもと親の相談員

小学校17人

さわやか相談員

中学校 6人



スクールカウンセラー(県) 小学校 月に1回程度

中学校 4校 週に1回 ・ 2校 隔週に1回

スクールソーシャルワーカー(県)2人(必要に応じて主に小学校に派遣)

スクールソーシャルワーカー(市)3人(各中学校に週2日・教育相談室に週1日)

日本語指導教諭 4人 日本語指導員 2人

外国籍児童生徒サポーター—令和6年度派遣実績12人182回(令和7年度11月時点16人)

◆通級指導教室について

通常の学級に在籍し、**通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒**に対して、障害に応じた特別の指導を行う指導形態。(平成5年度から小中学校で制度化、平成30年に高等学校に拡大)・**実施形態: 自校通級、他校通級、巡回指導**

対象障害種: 言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、肢体不自由、病弱・身体虚弱



◆就学相談について

就学先についての相談。(通級の支援についても相談)
障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から就学先を決定する。

◆巡回相談について

心理士(師)が市立小・中学校や市内の幼稚園・保育園を訪問し、発育発達に心配のあるお子さんについて支援の仕方等をアドバイスします。

新座市通級指導教室ふらねっとルーム設置教室数について

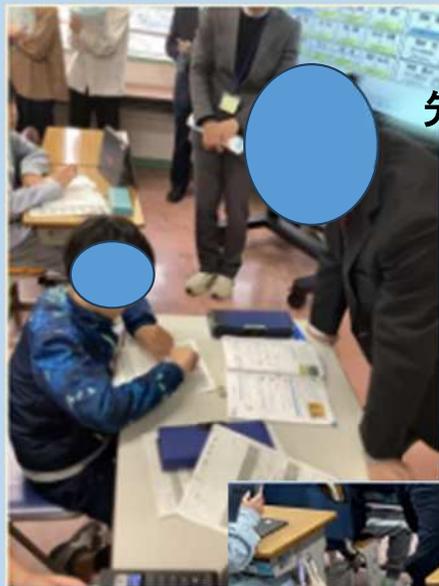


	設置年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
きこえとことばの教室(難聴言語教室)	昭和55年から	1	2	2	2
ふらねっとルーム(発達情緒【小学校】)	平成16年から令和4年度まで「あじさいルーム」	1	2	3	拠点校 5 巡回指導 2
FLANETルーム(発達情緒【中学校】)	平成29年から令和4年度まで「すずらんルーム」	1	1	拠点校 2 巡回指導4	拠点校 3 巡回指導 3
拠点校の学校	八石小 新座小 第三中	八石小 新座小 第三中	八石小(2学級) 新座小 野寺小 第三中	八石小・新開小 新座小・野寺小 新堀小 第三中・第四中	八石小・新開小 新座小・野寺小 新堀小・東野小 石神小 第三中・第四中 第六中

8.8%!
文科省調査

魅力ある学校づくりについて (学務課・教育支援課・教育総務課との連携)

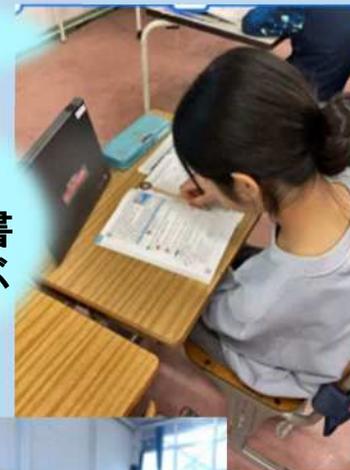
個別最適な学びの実現 自由進度学習・ICTの活用



先生と学ぶ



一人で学ぶ



教科書
で学ぶ



みんなと一
緒に学ぶ



ノートに
まとめる

タブレットに
まとめる

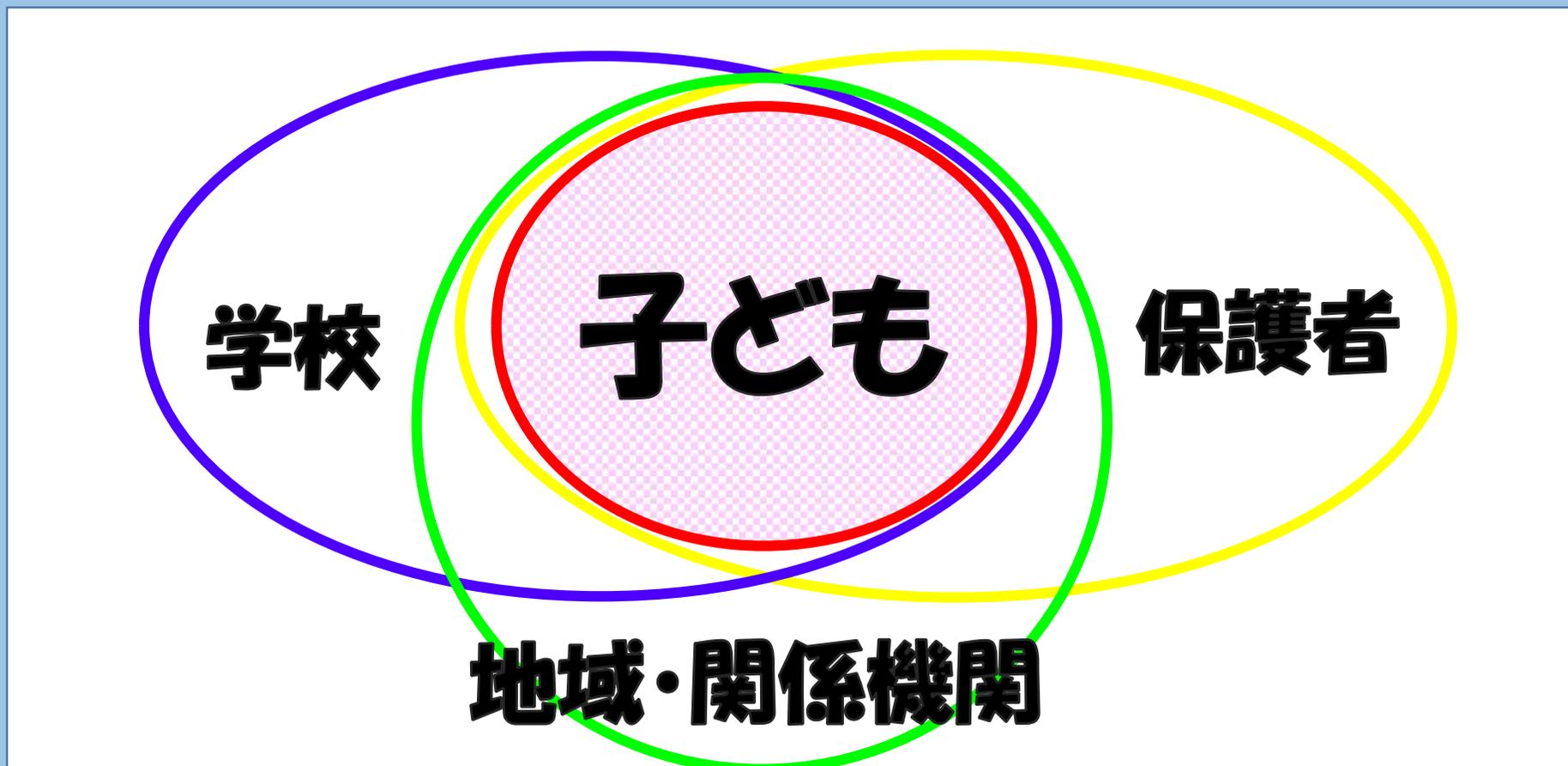


個別の声かけ



思考のよりどころを
掲示

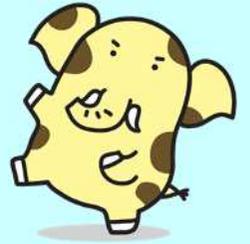
まとめ



子どもをまん中に置いた教育を！

【学校として】

- 新たな不登校を生まない魅力ある学校づくり(インクルーシブ教育の充実・授業改善(ユニバーサルデザイン))
- 教員の不登校に対する意識改革(多様な学びの場・評価の研究、学びにつなげられない児童生徒を0に。)
- 関係機関との連携(児童相談所・病院・行政)



【市役所・教育委員会として】

- 多様な学びの場を用意し、学びたいときに学べるよう選択肢を広げる。
- ※通級指導教室・教育支援ルーム及び校内支援ルームの拡充
- 保護者、家庭環境への支援
- 支援員・校内支援ルームスタッフ・相談員・SC・SSWの増員

ご清聴ありがとうございました。

